

第四回 貴族院議事速記録第二十八號

明治二十六年二月十三日(月曜日)

午前十一時三十三分開議

議事日程 第二十八號 明治二十六年二月二十三日

午前十時開議

一 辯護士法案(政府提出)

第二讀會(前會)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 去ヌル十日本院ニ於キマシテ可決ニナリマシタ政府提出酒精營業稅法案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由致シマシテ裁可ヲ奉請致シマシタ、本院提出徵兵令猶豫年限改正案ハ衆議院ニ送付致シマシテゴザイマス、次ニ本日ノ議事日程ニ移リマス以前去ヌル十日ノ勅詔ニ對シマシテ奉答案ヲ起草致シマスルコトハ各部ヨリ部長ヲ以テ本席ニ御委託ニナリマシタニ由ッテ起草致シマシテゴザイマス、之ヲ朗讀致シマシテ御異議ガナケレバ上奏ノ手續ニ致シマス、

臣貴族院議員等誠恐惶恭テ

叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス 今ヤ大憲ノ施行初步ニ屬スルニ方リ深ク將來ノ大成ヲ軫念セラレ茲ニ優渥ナル聖詔ヲ賜フ臣等謹テ

聖旨ヲ奉體シ益々和協ノ道ニ由リ以テ

皇猷ヲ贊襄スルノ任ヲ竭サムコトヲ期ス 臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス謹テ奉答ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 今一應讀ミマス、

(奉答案ヲ再讀ス)

○侯爵中御門經明君 唯今御朗讀ニナリマシタ奉答案ハ至極結構ト認メマ

ス、

○子爵會我祐準君 別ニ異議ハゴザリマセヌ、

○子爵林友幸君 少シモ異議ハゴザリマセヌ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今朗讀致シマシタル通り別段御異議ガナイト認メマスニ依ッテ此通り決シマシタ、宮内大臣ヲ以テ御都合ヲ伺ヒマシテ

奉答ヲ致シマスルコトニ仕リマス、次ニ本日ノ議事日程ニ移リマス、辯護士

法案第二讀會前會ノ續ヲ開キマス、第五條ハ委員ノ再修正ガ出テ居リマスカ

ラ朗讀致サセマス、

(木内書記官朗讀)

第五條 左ニ掲クル者ハ辯護士タルコトヲ得ス

第一 重罪ヲ犯シタル者但國事犯ニシテ復權シタルトキハ此限ニ在ラス
第二 定役ニ服スヘキ輕罪ヲ犯シタル者
第三 破産若クハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

(案作麟祥君演壇ニ登ル)

○案作麟祥君 辯護士法案第五條ハ諸君モ御承知ノ通り特別委員會ニ於キマシテ一應修正ヲ加ヘマシタ所ガ尙ホ其修正ガ不完全デアルト云フコトヲ以テ再ビ以前ノ特別委員ニ付託スルト云フコトニ相成リマシタ、即チ特別委員ニ於キマシテ此再付託ノ結果ト致シテ今日此修正案ヲ提出致シタ譯デアリマス、其斯ノ如ク修正ヲ加ヘマシタ理由ヲ一ト通り諸君ニ申上ゲヤウト存ジマス、此特別委員ニ於キマシテモ政府案ノ通りデアリマシテハ餘リ範圍ガ廣過ギルト云フ感ジガアリマシタ、夫レデ此衆議院ノ修正案ト申スモノハ即チ其範圍ノ廣過ギル如キ形ノモノヲ一層狹ク致シマシテ破廉恥的デ人民ノ信用ヲ失フト云フ種類ノ犯罪丈ケヲ列記スルコトニナッテ居リマシテ、即チ其方ガ始ハ宜カラウト思ッテ特別委員會デモ衆議院ノ修正ヲ贊成致シマシタ譯デ、唯衆議院ノ修正ノ儘デアルト云フト唯今ノ破廉恥的ノ性質ノアル犯罪ニ少シ脱漏ガアルト考ヘマシタカラ証告罪收賄罪ト云フモノヲ加ヘマシタ、併シ尙ホ熟考致シテ見マスルノ此犯罪ノ種類ヲ列記スルコトハ是レハ餘程困難デアリマス、甲ノ犯罪ヲ此中ニ入ルレバ自ラ乙ノ犯罪モ入レナケレバナラス、又丙ノ犯罪ヲ除ケバ丁ノ犯罪ヲ除カナケレバナラスト云フ所謂權衡論ノタメニ列記法ト云フコトハムツカシクナリマス、夫レ故ニ列記法ヲ始カラ取除キマシタ、第一讀會以來少々議論ガアリマシタガ其結果タルヤ以前ノ特別委員ニ再度ノ付託ニナリマシタ次第デアリマス故ニ此度ノ委員會ニ於キマシテ決シマシタ所デハ列記法ヲヨシマシテ即チ政府ヨリ衆議院ヘ提出ニナリマシタ原案ノ通りニ致シマシタ、デ前ニ述ベマシタ通り政府案ノ通りデハ稍々犯罪ガ廣ク唯辯護士タルコトヲ得スト禁ジマスノハ犯罪ノ範圍ガ廣過ギル心持ガ致シマシタケレドモ元來御承知ノ通り我邦ノ刑法ハ輕罪ノ種類ニ依ッテ重禁銅輕禁銅罰金ト斯ウ云フ區別ガ犯罪ノ種類ニ依ッテ立ッテ居リマス、其中デ定役ニ服シマス重禁銅、其重禁銅ニ處セラレマス犯罪タル唯社會ニ害ヲ流スノミナラズ道德倫理ヲ破ル矢張り破廉恥ノ様ナ性質ノモノガ重モニ重禁銅ニ處セラレマスコトニナッテ居リマス、即チ重禁銅ハ定役ニ服シマス俗ニ申シマス土擔ギ……赤イ衣物ヲ著テ土擔ギヤスルコトニナル、夫レデアリマスカラ重禁銅ニ當ル犯罪デ即チ定役ニ服スベキ輕罪ヲ犯シタルモノハ尤モ道德倫理ヲ破ルコトノ甚シキモノデアアル、夫レデアアルカラ斯ノ如キモノハドウモ辯護士タルヲ得ナイト云フ方ガ相當デアラウト思ヒマス、苟モ其赤イ

衣物ヲ著テ土擔ギヤスル定役ニ服スル罪ヲ犯シタ者ハ人民ノ信用ヲ得ル所ノ極大切ノ職務ヲ行フ所ノ辯護士トナル資格ヲ備ヘルモノデハナイト考ヘマス、加之斯ノ如キ身體ニ疵ノ附イタ者ガ辯護士トナルコトヲ得ルト致シマス、ト云フト此辯護士ニナツテモ一點ノ疵ノ附イタ立派ナ辯護士ノ仲間ヘ入レマスト云フト疵ノ附イタ辯護士ハ疵ノアル者ヲ仲間ニ入レルコトハ餘リ好マシクアルマイト考ヘマス、夫レデ第二條ノ修正ハ政府案デハ二回ノ試験ト云フコトガアリマシタノ此議場デ唯一回ノ試験デ辯護士タルコトヲ得ルト云フコトニ致シマシタ、政府案ニ於キマシテハ辯護士ハ判事檢事ト同一ノモノニスルト云フコトデアリマシタガ此議場ニ於テハ辯護士ハ必シモ判事檢事ト同一ノ者デナクモ宜イ、元ト性質ノ異ツタモノデ裁判所構成法ニ明ニ二回ノ試験ト掲ゲテアリマススケレドモ其事ハ判事檢事ト違フカラト云ツテ已メマシテモ辯護士タルコトヲ得ズト云フ犯罪ノ種類ハ判事檢事ト同一ニシテハナラヌト云フコトハアリマス、試験ノ方ノコトハ成程判事檢事ト辯護士ト別ニシテモ判事檢事トナルコトノ出來ナイノト辯護士ニナルコトノ出來ナイ即チ資格ヲ失フ犯罪ノ種類ノ如キハ判事檢事ニ對スルモ辯護士ニ對スルモ同一デアツテモ聊カ差支ハナイ、ノミナラズ此辯護士ニナリマスルノガ政府案ハ二回ノ試験デアリマシタノガ今度ハ一回ノ試験ニナリマシタノデ辯護士ニナリマスルノニ恰モ關門ヲ緩ニシタ様ナ氣味ガアリマス、其位辯護士ニナルノ關門ヲ緩ニシタノデアリマスカラ一方ノ方ニハ斯ウ云フ定役ニ服スル様ナ疵ノ附イタ犯罪人ニハ辯護士ニハナレヌト此方デ制裁ヲ附ルノガ随分必要デアラウト思ヒマス、斯ノ如キ理由ヲ以テマシテ此度ノ委員會ハ修正ハ全ク政府案ノ原案ノ通り丁度裁判所構成法ノ第六十六條ニ判事檢事タルヲ得ズト云フ所ガ矢張り斯ウ云フ犯罪ニナツテ居リマス、其通りニ決シタ譯デアリマス、約リ申セバドウモ列記法ヲ探ルコトガ餘程出來ナイ程困難ノコトニナルノト夫レト困難デアリナイハ暫ク措イテ定役ニ服スベキ者デアレバ所謂疵物デアラカラサウ云フ廉恥ヲ害スル者ハ辯護士ニナラヌト判事檢事ト同一デ宜カラウト斯ウ云フコトニ決シタノデアリマスカラ何卒諸君御賛成アラント希望致シマス、

○村田保君 唯今委員ヨリ報告ニナリマシタル此度ノ修正ニハ固ヨリ本員モ賛成デゴザリマス、本員ハ最初ヨリ政府提出ノ原案ノ方ガ遙ニ優ツテ居ルカラ原案ニ復シタイト云フコトヲ申シマシタコトデゴザイマスガ唯今ノ修正デゴザイマスと全ク政府原案ニ復スルト云フコトニナリマスカラ悦ンデ賛成致シマス、

○子爵小笠原壽長君 本員モ唯今特別委員長カラ報告ニナリマシタノハ大イニ賛成致スノデゴザリマス、殊ニ此第二項ノ如キハ過日本員モ政府委員ニ

質問ヲ發シマシタノハ全ク唯今特別委員長カラ述べラレマシタ通りノ修正說ヲ提出致サウト思ヒマシテ一應本員ガ確メマシタノデアリマス、實ニ此辯護士ト云フモノハ唯今特別委員長カラ述べラレマシタ通り實ニ辯護士ノ職務ト云フモノハ大イニ人ノ權利義務信用上ニ關シマス譯デアリマスカラ品行方正ノ上ニモ方正デナケレバナラヌコトト思ヒマス、夫レデ本員ハ飽迄唯今委員長カラ述べラレマシタ理由ヲ賛成仕リマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第五條ノ決ヲ採リマス、即チ第五條再修正ノ分、此修正案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、依ッテ修正案ニ決シマス、

〔本内書記官朗讀〕

第六條 辯護士ハ報酬アル公務ヲ兼スルコトヲ得ス但帝國議會議員、府縣會常置委員ト爲リ又ハ官廳ヨリ特ニ命セラレタル職務ヲ行フハ此限ニ在ラス

辯護士ハ商業ヲ營ムコトヲ得ス但辯護士會ノ許可ヲ得タルモノハ此限ニ在ラス

第二章 辯護士名簿

第七條 辯護士ハ辯護士名簿ニ登錄セラル、コトヲ要ス

第八條 各地方裁判所ニ辯護士名簿ヲ備フ

辯護士ハ其氏名ヲ登錄シタル地方裁判所ノ所屬トス

刑事訴訟法第二百六十四條及第二百七十九條ノ所屬辯護士ハ受訴裁判所所在地ノ辯護士ヲ以テ之ニ充ツ

第九條 辯護士名簿ニ登錄ヲ請フ者ハ其所屬地方裁判所ノ檢事局ヲ經由シテ司法大臣ニ請求書ヲ差出ス可シ

登錄請求書ニハ第二條乃至第六條ノ事項ニ關スル證明書ヲ添フ可シ

第十條 登錄ヲ請フ者ハ登錄手数料トシテ金貳拾圓ヲ納ム可シ

他ノ地方裁判所ニ登錄換ヲ爲ストキハ手数料トシテ金拾圓ヲ納ム可シ

第十一條 登錄ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

〔松岡康毅君演壇ニ登ル〕

○松岡康毅君 諸君、本員ハ唯今朗讀ニナリマシタ中ノ第八條ノ二項、夫レカラ第三條辯護士ノ權利義務ト申ス十二條ノ前ニ二箇條追加ヲ致シマシテ二十六條ヲ削除スルト申ス動議ヲ提出致シマス、夫レニ付キマシテハ定規ノ賛成ヲ得テナスベキデゴザイマシタガ頃日中少シ事故ニ妨グラレテ其事ヲナシ得ズト居リマシタガ議場デ諸君ノ御賛成ヲ願ヒタイ者デゴザイマス、第

一ニ第八條第二項ニ「辯護士ハ其氏名ヲ登録シタル地方裁判所ノ所屬トス」ト
ゴザイマスル其下ヘ「但其所屬ハ一裁判所ニ限ル」ト申ス文字ヲ加ヘマスル、
夫レカラ此唯今此十二條ノ前ト申上デマシタルハ間違デゴザイマシテ十二條
ノ次デゴザイマス、十二條ノ次ヘ二箇條加ヘマスル、ガ其十三條ト致シマシテ
「辯護士ハ所屬地方裁判所管内、管轄控訴院及大審院ニ於テ其職務ヲ行フ但
其取扱ヒタル事件他ノ裁判所ニ移サレタルトキハ此制限ニ拘ハラス職務ヲ行
フコトヲ得、本條ノ規定ハ特別法ニ依リ辯護士ノ特別裁判所ニ於テ其職務ヲ
行フコトヲ妨ケス」是レガ十三條ト致シマスル一條デ、其次ヘ十四條ト致シ
マシテ「地方裁判所ノ辯護士不足スル場合ニ於テハ其裁判所ハ職權ヲ以テ又
ハ申立ニ依リ近隣ノ地方裁判所所屬ノ辯護士ヲシテ職務ヲ行ハシメ又ハ其職
務ヲ行フヲ許可スルコトヲ得」是レガ十四條トナリマシテ此二條ヲ即チ本案
十三條ト十二條トノ間ニ加ヘマス、サウナリマシテ此末ノ二十六條ノ「辯護
士ハ其所屬地方裁判所管轄外ニ事務所ヲ設ケ」云々ト申ス此一條ヲ全條削除
スルノ動議デゴザイマス、此加ヘマスル箇條ハ總テ政府提出ノ案ニアル所ノ
モノデゴザイマシテ衆議院ニ於テ削除ニナッタ箇條デゴザイマス、連絡致シ
マシテ其旨趣ハ一ノ理由デ貫キマスルガ即チ其辯護士ノ所屬ト申シマスルモ
ノハ一ノ裁判所ニ限ルト云フノガ趣意デゴザイマス、一ノ裁判所ト申シマ
シテモ此十三條ヘ追加スル所デ少シシコガ廣クナリマシテ地方裁判所ニ一ノ
地方裁判所ニ所屬トナッテ居マシテモ其管内ノ區裁判所又其地方裁判所ヲ管
轄スル控訴裁判所ニ出マスルコト、又上告ノタメ大審院ヘ出マスルコト、是レ
ハ一ノ所屬裁判所ノ所屬ト申シテ置キマシテ矢張り夫レ丈ケノ猶豫ハ附クノ
デゴザイマシテ、一裁判所ニ限ルト申シマシテモ一ノ地方裁判所ニ限リ職務
ヲ行フト云フノデハゴザイマセヌ、所屬ハ一ノ裁判所ニ限ッテ置イテサウシテ
其管轄ノ控訴院大審院ト上ヘ向イテ一ノ系統ヲ傳ヒマスルコトハ差支ナク出
來ルノデゴザイマス、此所屬ヲ一ツニ限ルコトニ付キマシテハ第一期ノ時分
ニモ政府案ガ本院ニ於テ修正ニナリマシテ其他ニモ修正ノ廉モゴザイマシタ
ラウガ遂ニ撤回ニ至ッタノモ大イニ此箇條ガ必要ト云フ所ニ關係ヲ致シテ居
ッタ次第デゴザイマスルガ、所屬ヲ一ニセヌケレバナラヌト申ス必要ト申シマ
スモノハ色々理由モゴザイマセウガ、先ヅ本員ガ聊カ此裁判所ニ於テ現今ノ
代言制度ノ利害得失等ハ經驗モゴザイマスル實驗上カラ見マスルノニ是非ト
モ此所屬ト云フモノヲ一箇所ニセヌケレバナラヌト信ジマスル、其大要ヲ申
述ベマスルト第一番此辯護士ノ裁判所ニ於テ必要ナコトハ期日ヲ守ルト申ス
コトガアルノデゴザイマス、期日ト申スト口頭辯論ノ期日トカ夫々其調ヲス
ルノニ日限ヲ定メマスルガ其日限通りニ出テ行ッテ職務ヲ行ハヌケレバナラ
ヌト云フノガ甚ダ重要ナル點デゴザイマス、然ルニ一ノ辯護士ガ諸方ノ裁判

所ニ屬シテ方々デ職務ヲ行フ様ニナリマスルト其期日ヲ守ルト云フコトガ如
何ニモムヅカシクナリマス、其事ヲ少シ委シク申上デマスルト前々ノ訴訟手
續デ見マスルト期日ヲ定メマスルコトナゾモ大分粗略ニゴザイマシタガ追々
訴訟法ナゾガ出來マシタカラ先ヅ現今ノ法律上ノ旨趣ト致シマシテ期日ヲ定
メマスルニハ、例ヘバ今日茲ニ訴訟ガ一ツ出マスルト前々カラノ期日ハ皆其
提出ニ從ッテ日限ヘ割込ミニナッテ居リマスカラ事務ノ多イ所ハ固ヨリ、中等
ノ所デゴザイマシテモ今日一ノ訴訟ガ出マスルト或ハ來月ノ幾日トカモウ一
ツ次ノ月ノ幾日トカ申ス様ニ新規ニ出マシタモノハ一箇月又ハ二箇月後ノ日
限ニ定メマスルデ、夫レガ即チ期日デ、其時ニ出テ參リマセヌト其次ノ日ハ
ズット順ニ今ノ様ナ新規ナモノヲ割込シテ參リマスカラ臨時ニ辯護士ガ出頭
致シマセヌトキハ其日ニハ出來ナイノミナラズ次ヘ繰廻ハサウト致シマスル
ト又何箇月カ後ヘ延サヌナラヌ様ナコトニ至リマス、直様其次ノ日ヤ又其次
ノ日ニ繰替ヘルト云フコトハ餘程ムヅカシクナリマス、サウナリマスルト折
角其時ニ事務ガ出來ルベキモノガ又一箇月モ二箇月モ延ビル様ナコトニナリ
マスト裁判上ノ事務ノ都合ニ差支ヲ生ズルノミナラズ依頼ヲシテ居ル本人モ
其時ニ濟ムベキモノガ又何箇月モ其儘結末ニ至ラズニ待ッテ居ラヌケレバナ
ラスト云フ様ナコトニ立至リマス、ドウシテサウ云フコトガ出來ルカト申シ
マスルト方々ニ職務ヲ行フ様ナ有様ニナッテ居リマスルト、ツイ東京デ期日
ガ極ッテ居マスレバ名古屋ニモ期日ガ出來ル、場所ガ隔ッテ居マスルト其方
ヘ行ッテ居ル間コッチノ方ガ差支ヘル、又コッチニ期日ガアルノニ餘所ヘ行
ク急ナコトガ出來ルトコッチニ日延ベラシテ向フヘ行クト云フ様ナコトデ方
々ヘ辯護士ガ遠方ヲ駈廻ッテ歩クト云フコトガ即チ此期日ヲ守ルトガ出來
ヌト云フ結果ヲ生ズルノデゴザイマス、其事ハハヤ一兩年モ經マスルガ裁判
ノ上ニ延滞ノ生ズルノハドウ云フコトニ在ルカ、裁判ノ延滞ハ裁判ノ上ニ非
常ナ惡ルイコトニナッテ居リマス、其延滞ノ生ズルノハドウカラ生ズルカト云
フコトヲ裁判所ニ就テ夫レハ調ベサセタコトモゴザイマシタガ十二分九厘
迄モ代言人ノ都合デ延期ヲ請フノデ、是レガ雙方デ連署シテ延期ヲ願ヒマス
トキハ夫レヲ差止メルコトハ出來ナイ、一方ノ代言人ガ支ヘテ延期シタイト
申ストキハ相手方ノ代言人ニ相談スル、代言人仲間ハ相對ノコトデゴザイ
マスカラ餘リ夫レヲ拒ムコトハシナイ、スルト何時デモ容易ニ雙方ノ代言人
ガ同意シテ延期ヲ請フ、延期ノ二度モ三度モ出テ來ル様ニナリマスルト其事
務ト云フモノハ大變引延バサレテ後レマス、裁判上デ結末ノ遅イノハ延滞ト
稱ヘマスルケレドモ其實ハ多クハ今ノ様ナ代言人ノ自分ノ都合デ延期ヲシテ
參リマスカラ結局ヲ見ルコトガ出來ナイノデアリマス、斯ウ云フ實驗ノ上デ
何分代言人ガ諸方ヲ掛持チニスルコトハ詰マリ期日ヲ守ルトガ出來ナイ裁

判ノ延滞ヲ釀スノ原因ニナルト云フコトハ實驗上カラ現レマシタ、夫レ故最初ノ議會ノ時分ニモ此辯護士法案ニモ主トシテ其邊ヲ書イテゴザイマシタ、所ガ不幸ニシテ成立タズニ今日迄至リマシタ、今回ニ於テ又政府カラ夫レヲ出シマシタ所ガ衆議院ニ於テ之ヲ削ラレタコトデゴザイマス、何分此辯護士ノ大事ナ所ハ此期日ヲ守リ緊要ノ事務ヲ進行サセテ行カヌケレバナラヌ、ソコニハ代言人ト云フ者ガ、即チ今度變ハル辯護士ガ諸方ヲ掛持チニスルハ惡ルイト云フコトハ到底此案ニ付テ極必要ナ廉デゴザイマスカラ即チ本員ノ修正ヲ申立テル所ノ理由ノ大略ハ夫レデゴザイマス、然ルニ世ノ論者ニ代言人ハ醫者見タ様ナモノデアル、上手ナ代言人ハ遠方ニ居ル者デモムヅカシイ事件ナゾハ夫レヲ頼マナケレバナラヌ、土地ヲ限ラレテ見ルト隣ノ裁判所ニハ善イ代言人ガ居ッテモ招クコトモ頼ムコトモ出來ナイト斯ウ云フ說モゴザイマスケレドモ夫レモ格別憂フル程ノコトデハゴザイマセヌ、ト申スノハ今日ノ如ク自由ニ歩クニ致シマシテモ邊鄙ノ裁判所等ヘハソシカニ有名ナ代言人ガ招カレテ行クコトモ餘リナイコトデ、又繁華ナ所デ有名ナ代言人デモ行カウト云フ程ノ所ナラバ可ナリ其所ニハ相當ノ代言人ガ從來デモ居リマシタ、縱ヒ又今日ノ所デ相當ニ繁華ナ場所ニ十分ナル代言人ガ居ナイトシテモ夫レハ流通シテ方々代言人ガ歩カレル制度ニナッテ居リマスカラ餘リソコヘ人ガ腰ヲ据エナイト云フ様ナコトデ、土地ノ所屬ヲ限ル様ニナッタナラバ相當ニ事務ノ有ル所ハ夫レニ應ジテ代言人ガ又ソコヘ移ッテ參ルハ必然、即チ需用供給ノ自然ノ數カラシテ追ッソコヘハ自然分配ガ行ハレルニ違ヒナカラウト思ヒマス、又モウ一ツノ論ニハ矢張り醫者ト代言人ハ似タモンダ、醫者ハ上手ナ人ナラバ遠方カラデモ迎ヘル、ムヅカシイ病人ナラバ名高イ醫者ニ掛ル、辯護士モ夫レト同ジコトデ營業ノ方カラ言フテモ頼ム方カラ言フテモ同ジダト云フ說ガ隨分行ハレテ居ルコトヲ豫テ承リマスルガ、是レハ醫者ノ職務ト辯護士ノ職務ト混淆シタ話デ、區別ノアルコトヲ區別ヲ立テナイカラサウ云フ論ガ出ルノデアラウト思ヒマスル、申上ゲマスルマデモゴザイマセヌガ御醫者サシガ病人ヲ見ルニハドノ病人ヲドノ醫者ガ見テモ今診斷スレバハヤ即座ニ分ル、スレバ藥モ即座ニ應ズルコトガ出來ル、又是レハ醫者デゴザイマスガ醫者ハ限ッテ置カレナイト云フノハ何時病氣ヲ生ズルカモ知レズ其發シルノニ一向定ッタ時ノナイモノデゴザイマスカラ是非トモ急ニ應ズルタメニ誰レデモシテ宜イト云フコトニナラナケレバナラヌ筈デゴザイマス、然ルニ訴訟ノ事務ト申シマスルモノハ一旦代言人ニ頼ミマスレバ期日ト云フモノモ一定シテ俄ニ變ノ起ルベキモノデハナイノデゴザイマス、且ツイキナリ今日ガ期日ダ明日ガ期日ダカラト申シテ如何ナル代言人ニデモ出來ルカト云フテモ出來ナイ、先ツ立證ノ準備ヲスル、證據立テヲスルニモ段々取調ヲシテ豫メ準備ヲシ

テ置カナケレバナラヌ、土地山林ノ如キハ事ニ因レバ其實地ニ就テ調べテ置カナケレバ辯護ノ出來ヌト云フ様ナ事柄モアル、夫レ故ニ誰レデモ走り掛リニ急病人ガ醫者ヲ迎ヘテ診斷ヲ請フ様ナ譯ニハ決シテ往キマセヌ、豫メ取調ヲシテ置イタ代言人デナケレバ出來マセヌ、斯ウ云フ様ニ醫者ノ仕事ト代言入ノ仕事ハ大變事物ガ異ナッテ居リマスル、夫レ故ニ總テ此醫者ト同様ニスルガ宜イ、營業デアルナラ頼ム方ノ都合次第アルト云フ說ハ甚ダ區別ヲ立テナイ一概ノ論デ善クハアルマイト考ヘマス、第一此辯護士法案ニ付キマシテ動モスルト發シマスルシ、又成ル丈ケ辯護士ノ便利ノミ計ラヌナラヌト云フ說ガ多ク勢ヲ得テ居ル様ニ考ヘマスルガ、元來此辯護士法ヲ立テルト申シマスルノハ辯護士ト云フ者ノ營業ノ便宜ヲ計ッテヤラウト云フ旨趣デハ決シテナイノデゴザイマス、訴訟ヲスル裁判上ノ一ノ機關即チ公衆ノ便宜ヲ計ルガヒマスルケレドモ此法律ヲ扱フテ裁判上ノ機關トナル所ノモノデゴザイマスカラ多少ノ制限ヲ其處ヘ加ヘルト云フノハ當然ノコトデゴザイマス、決シテ自由營業ノモノヲ妨ゲルト云フ觀念ヲ以テ論ズベキモノデハナイノデ、公衆ノタメニ設ケマスルノデ代言人ノタメニ專賣特許ノ法律ヲ定メルト云フ様ナモノデハナイノデゴザイマスルガ、兎角此數年ノ間辯護士案ナゾニ付テ論ノ起リマスルノハ辯護士ノ便利ヲ計ル方ノ傾ガ多クテ公衆ノ便宜ヲ計ル方ガ甚ダ乏シイカノ様ニ思ヒマスルデゴザイマス、今申上ゲル通り此辯護士法ハ即チ裁判上ニ於テ社會公衆ノ便宜ヲ計ルガタメニ立テマスモノデゴザイマスカラ多少ノ制限ヲ辯護士ニ加ヘルト云フノハ當然ノコトデアルト云フコトヲ諸君モ御考ヘテ下サルコトヲ希望致シマスル、勿論此修正十二條十三條ヘ立テマスル所モ一ノ所屬ト申シマシテモ其裁判所ハ地方裁判所其下ノ管内ノ區裁判所並ニ其事件ヲ以テ控訴裁判所ヘ行クコトモ大審院ヘ行クコトモ出來マスコトデ是レモ極十分ニ申シマスルト地方裁判所所屬ノ者ハソコニ止ッテ控訴院ハ控訴院、大審院ハ大審院ニ所屬ヲ定メルガ適當デアラウト思ヒマスルケレドモ、先ツ唯今ノ所デ一步ヲ寬メテ地方裁判所カラ控訴院大審院マデハ筋ヲ傳ッテ職務ヲ行フコトヲ許スト云フコトニナリマスル餘程寬ミノ附イテ居ル法案ト考ヘマスル、ソコデ其マア修正ヲ加ヘマスルト末ノ二十六條ト云フモノヘ撞著致シマス、即チ衆議院デ加ヘタ所ノ修正ヲ削除スルノハ文字ノ上ノミデナク事柄モ違ッテ居ルコトハ明デ別ニ説明ヲスル程ノコトハゴザイマセヌ、要スルニ爰ヘ制限ヲ加ヘマスルトキニハ公衆ノ便宜ニナル、辯護士ノ便宜バカリ計ルナラバ無制限ニスル方ガ宜イ、併シ辯護士法ト云フモノハ公衆ノタメノ機關トシテ設ケルノデ辯護士ノ職分ヲ保護シヤウト云フ目的デナイ

ト云フ此簡單ノ事柄ヲ聽分ケマシタナラバ修正說即チ政府ノ元ト出シタ原案ノ旨趣ト云フモノガ適當デアラウト云フコトハ定メシ諸君モ御認知ニナルデアラウト思ヒマス、モウ別段長ク申上ゲマスモゴザイマセヌガ、ソコノ點ニ於テ成規ノ御賛成ヲ請フハ無論ノコト、尙ホ其上多數諸君ノ御賛成ヲ得テ修正案ノ成立チマスコトヲ希望致シマス、

○侯爵醍醐忠順君

唯今ノ修正ヲ賛成ヲ致シマス、

○男爵小松行正君

一應特別委員ニ御辯明ヲ願ヒタイト思ヒマス、

○箕作麟祥君

唯今小松男爵カラ特別委員ノ辯明ヲ求メルト云フ御發言デゴザイマシタガ、唯今松岡君ノ修正說ハ未ダ定規ノ賛成ガゴザイマセヌ、説ガ成立チマシタラ無論特別委員デモ多少論ガアッタノデゴザイマスルカラ其論ノアリマシタ所ハ諸君ニ御報道致シマスル積リデアリマスガ、マダ定規ノ賛成者ガアリマセヌカラ控ヘテ居リマス次第デアリマス、

○男爵渡邊清君

賛成、

○小原重哉君

唯今松岡君ノ述ベラレマシタ所ニ總テ賛成デゴザイマス、

○宮本小一君

是レハ定メシ之ニ反對ノ御論モゴザイマセウガ利害得失ハ必ズ五分五分位ノモノデゴザイマセウ、去ナガラ唯今松岡君ノ述ベラレマシタ方ノ説ニ本員ハ先ヅ賛成ヲ致シテ置キマス、其方ガドウモ宜イ様ニ存ジマス、

○子爵平松時厚君

松岡君ニ賛成、

○澤簡德君

賛成、

○武井守正君

賛成、

○山脇玄君

賛成、

○馬屋原彰君

賛成、

○子爵日野西光善君

賛成、

○子爵小笠原壽長君

本員モ松岡君カラ述ベラレマシタノハ大賛成デアリマス、實ニ此制限ガアリマセヌト人民ノ不便ハ非常ナ不便デアリマス、此法案ハ辯護士ノ便利バカリ計ッテ人民ノ便利ガ少シモ計ッテナイノデアリマス、デ本員ガ會テ聞キマシタコトガアリマスガ明治二十四年ノ四月カラ六月マデニ民刑ノ事件ノ數ハ大審院ヲ初メ控訴院並ニ各地方裁判所及支部テ受附ケタ總件數ハ三萬六千四百五十七件デアリマス、夫レデ其中當時延期ニナッタ即チ或ハ官ノ都合又ハ人民ノ都合デ延期ニナッタ其延期ニナッタ件數ガ五千八百四十五件デアリマス、其五千八百四十五件延期ニナッタ中官ノ都合デ延期ニナッタハ八百十四件デゴザイマス、人民ノ都合デ延期シタノハ五千三百三十一件デアリマス、是レハ多ク代言人ノタメニ延期ニナッタノデゴザイマス、斯リ通り實ニ人民ノ不便極マルモノデアリマスカラ是非ドウモ規則ガナ

イト人民ガ非常ナ不便ヲ感シルト思ヒマスカラ本員ハ松岡君ノ御論ハ徹頭徹尾賛成ヲ致シマス、

○侯爵中御門經明君

賛成、

○子爵京極高典君

松岡君ノ説ヲ賛成、

○子爵板倉勝達君

松岡君ニ賛成、

○重野安釋君

松岡君ニ賛成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

少シ聞エマセヌガ御賛成デスカ、

○重野安釋君

賛成デゴザイマス、

○子爵由利公正君

本員モ賛成ヲ致シマス、

○堀眞五郎君

賛成ヲ致シマス、

○安場保和君

本員モ松岡君ニ賛成ヲ致シマス、

○伯爵萬里小路通房君

本員モ賛成、

○子爵鳥居忠文君

松岡君ヲ賛成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

松岡君ノ修正說ハ定規ノ賛成者ガゴザイマシテ問題トナリマシタ、最早時刻ガ餘程正午ヲ過ギマシタカラ一應休憩ヲ致シマス、

午後零時二十五分休憩

午後二時四十六分開議

〔子爵曾我祐準君發言ノ許可ヲ求ム〕

○副議長(細川潤次郎君)

曾我君、

○子爵曾我祐準君

本員ハ緊急ノ動議ガゴザリマス、

○副議長(細川潤次郎君)

少シ御控ヘ下サイ、少々定足數ガ……宜シウゴザース、

○子爵曾我祐準君

緊急動議ガゴザイマス、其緊急動議ノ主意ハ去ル十日ノ詔勅ニ基ク所ノ一ノ緊急ナル動議デゴザイマス、恐レ多クモ内廷ノ費ヲ省イテ製艦費ニ下付セラル、優渥無量ナル聖旨ニ對シ奉ッテ我々ハ實ニ恐懼戰慄ノ至ニ堪ヘヌ譯デアリマス、此際貴族院ハ一ノ重要ナル決議ヲナシテ涓滴ノ微衷ヲ盡サナケレバナラスト存ジマス、此動議即チ緊急動議ガ成立チマシタナラバ本員等即チ此動議ノ發議者ハ演壇ニ出マシテ動議ノ主意ヲ陳述致シマシテ諸君ニ賛成ヲ請フコトデゴザイマス、

〔三浦安君發言ノ許可ヲ求ム〕

○副議長(細川潤次郎君)

三浦君、御發言ニ……

○三浦安君

唯今曾我君ノ緊急動議ヲ賛成致シマス、

○村田保君

曾我君カラ緊急動議ガ出マシテ先日ノ勅語ニ對スルコトニ

付テ云々ト云フ御説デゴザイマスガドウ云フコトデアリマスカ、大體ノコトヲ斯ウ云フコトデ緊急動議ヲ起スト云フコト丈ケヲ一ツ伺ヒタイ、

○子爵谷干城君 緊急動議ニ賛成致シマス、

○男爵伊達宗敦君 曾我子爵ニ賛成ヲ致シマス、

○男爵渡邊清君 曾我君ニ賛成、

○子爵松平信正君 賛成、

○男爵榊取素彦君 曾我君ニ賛成、

○原忠順君 曾我君ニ賛成、

○宮崎總五君 賛成、

○長谷川貞雄君 賛成、

○子爵本莊壽巨君 賛成、

○三木與吉郎君 動議ニ賛成、

○副議長(細川潤次郎君) 曾我君カラ發議ガゴザシタ緊急動議ガ段々賛成者モゴザース、即チ其緊急動議ヲ目今議スルヤ否ヤト云フ決ヲ採リマス、

若シ議スルト云フコトニナリマシタナラバ則チ議事日程ノ變更ニ關シマスルコトデゴザースルカラ此決ヲ採リマス、即チ曾我君ノ發議ニ御同意ノ御方ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○副議長(細川潤次郎君) 過半数ト認メラレマスルニ依ッテ即チ議スルコトニナリマシテゴザース、議事日程變換ノコトヲ政府ノ同意ヲ求メマス、

○副議長(細川潤次郎君) 政府ノ同意ヲ得マシテゴザース、

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 今此ニ謹ンデ本員等ガ提出シマス所ノ發議……動議ハ去ル十日ノ 勅諭ニ基ク所ノ一ノ緊急ナル動議デアリマス、此際貴族院ハ一ノ重要ナル決議ヲナサント欲スルノデアリマス、則チ提出シマシタ所ノ動議ヲ朗讀致シマス、

貴族院ハ謹テ本月十日ノ 勅諭ノ趣意ヲ奉シ歳費ヲ受クル者ハ六年ノ間毎歲其歳費四分ノ一ヲ納レ製艦費ノ補足ニ充ンコトヲ決議ス

明治二十六年二月十三日

發議者

子爵 曾我祐準
男爵 小澤武雄
藤村紫朗

理由

製艦費補足ノ爲メ内廷ノ費ヲ省カセラル、ノ 勅旨恐悚ノ至リニ堪ヘス是本案ヲ提出スル所以ナリ

原 忠 順

謹ンデ案ジマスルニ去ル十日ノ 勅諭ハ恐レ多クモ優渥ナル 詔勅デアリマシテ其 詔勅ノ中ニハ内廷ノ費マデモ省カセラレテ製艦費ニ下付セラル、ト云フ允文允武ナル 聖天子ノ睿慮ハ實ニ恐懼戰慄ノ至リニ堪ヘマセヌ次第デアリマス、此際我が貴族院ハ……貴族院議員ノ歳費ヲ受ケル者ハ此 聖旨ヲ奉ジマシテ涓滴ノ微衷ヲ盡サザルベカラズト本員等ハ固ク信ジテ居リマスノデアリマス、假令歳費ノ四分ノ一ヲ納メマシテモ製艦費ノ多額ナル軍備ニハ實ニ九牛ノ一毛ニ過ギヌコトデアリマセウケレドモ此微誠ヲ盡スニ於テ金額ノ多寡ハ敢テ顧ミル所デハ無イト考ヘマス、是レ本員等ガ此案ヲ提出シマシタ主意デアリマス、且ツ此案ヲ動議トシテ即チ此ニ出シマシタ理由ニ付テ少シク陳述ヲ致シマス、初メ此事件ハ上奏ニスベキデアルカ建議ニスベキデアルカ又ハ法律案トシテ提出スベキデアルカト云フコトヲ種々ニ勘考ヲ費シマシタノデアリマス、然シテ詰マリ是レハ一ノ動議トシテ決議ヲ致シ置クガ最モ適當ナルコトデアラウト云フコトニ極メマシタ次第デアリマス、ナゼナレバ上奏デアリマスレバ餘リ大層ラシク且ツ又上奏ト云フコトハ左様ナ性質ナモノデアアルマイト思ヒマス、建議ト致シマスト政府ニ差出ス譯ニナリマス、我々ノ歳費ハ文武百官ノ俸給トハ違ヒマシテ議院法ニモ「議長副議長及議員ハ歳費ヲ辭スルコトヲ得ス」ト斯様ニアル譯デアリマスカラ建議トシテ出シテモ政府ハ其處分ニ困ルカモ知レヌト思ヒマス、若シヤ又勅令ナド規定スルモノデアリマセヌ、即チ我々ノ歳費ハ文武百官ノ俸給トハ大イニ性質ノ違フモノデアリマシテ勅令デ規定サレルモノデアリマセヌ、又法律案トシテ議院法ノ一箇條ヲ改正シマスレバ夫レハ出來ルコトデアリマスガ是レシキノコトニ貴重ナル議院法ヲ改正スルト云フハ餘リ好マシクアリマセヌコトデアリマス、又法律案トナレバ衆議院トノ關係モアリマシテ實際此事ハ餘程運ビニクイコトデアラウト思ヒマス、右ニ付キマシテハ本員等ハ優渥ナル 聖旨ヲ奉ズルノ微志ヲ徹底セムガタメ歳費四分ノ一ヲ納金トスルト云フ決議ヲナシ置イテ、サウシテ其取扱方ハ議長ニ委託シテ適當ナル處分ニ任セラルト云フ斯様ナル主意デアリマス、且ツ此歳費四分ノ一ヲ納金スルト云フ主意ハ獻金ト申ス積リデハ決シテナイ、獻金トハ意味ガ違フ、獻金トスレバ賞詞ヲ下サルト云フ意味ガアルガ是レハ決シテサウデハナイ、勿論又俸給稅ト云フ譯ノモノデモナイ、唯是レハ納金ト單ニ言フ積リデアリマス、夫レハ何故ニ左様ニ納金ト云フ名前ガ出テ來タカト仰セラルレバ夫レハ 詔勅中ニモ

文武官ノ俸給十分ノ一ヲ納レ以テ製艦費ノ補足ニ充テシムト斯様ニ、諸君モ御承知ノ通り十日ノ 詔勅ニゴザリマス、夫レニ基イテ我々議員モ之ニ倣ッテ納金ヲシタイト云フ 斯様ナ譯デアリマス、又四分ノ一ニシタノハ何故デア
ルカ、此事ニ付テ亦一言申上ゲテ置キマス、文武官ノ十分ノ一デハナイ
カ、夫レニ議員ハ何故ニ四分ノ一ト云フコトニ考付イタカ、何ヲ標準トシタ
カト斯様ナ御疑ガアラウカト思ヒマス、夫レハ元來議員ノ歳費ト申シマスル
モノハ官吏ノ俸給トハ性質モ違ヒ名稱ノ上ニ於テモ俸給ト云ハズシテ歳費ト
云フ則チ違ッテ居リマス、左様ニ性質ガ違フ上ハ別ニ官吏ヲ標準ニ取ル必要
ハナイデアラウト思ヒマス、又官吏中ニハ無俸給ノ者ハアリマセスガ議員ニ
ハ諸君御承知ノ通り公侯爵ノ如キハ無歳費デアリマス、斯ノ如ク資格ニ於テ
モ性質ニ於テモ違ッテ居リマス、且又元來議員ハ外國ナドニハ無論無歳費ノ
議員モアリマス、又歳費アルニシテモ我々邦ノ歳費ノ如キハ随分少クナイノト
信ジマス、又我々邦ノ富ノ度ニ比シマシテモ随分議員ノ歳費ハ多カラウト信ジ
マスノデアリマス、且ツ我々ハ元來勤儉尙武ヲ主張スル者デアリマスカラ此
趣意カラシテモ我々ガ自ラ受クル所ノ歳費ヲ過分ナト思フタラバ之ヲ辭スル
……辭スルデハナイ、過分ナト思フタラバ夫レヲ斯ノ如キ時機ニ當ッテ納金
スルノハ平生ノ趣意ニ於テモ斯ノ如ク致シタイト考ヘルノデアリマス、且ツ
聖上内廷ノ費迄モ省カル、ト云フ斯ノ如キ非常ナル際ニ於テハ必ず割合ノ
多寡ニ拘泥シテ瑣々タルコトヲ言フ時機デハアルマイト思ヒマス、臣民タル
者ハ此 聖意ニ感激シテ微衷ヲ表明スル外ハナイ時節ト思ヒマス、願ハクハ
満場ノ諸君ニ於キマシテ本員等ノ此動議ヲ賛成アラムコトヲ希望致シマス、
唯今朗讀ノ時ニ申シマシテ通り發議者モ私一人デハアリマセス、他ニ三人モ
アラセラル、コトデアリマスカラ他ノ諸君ヨリモ此趣意ヲ辯ゼラル、コトデ
アラウト思ヒマス、

○村田保君 唯今會我君カラ緊急動議ガ出マシテ段々御説明ニナリマシ
タ、其事柄ニ於キマシテハ満場諸君ドナタモ御反對ノ御方ハナイダラウト存
ジマス、併ナガラ此事ヲ議場デ議シマスルコトニ付キマシテハ本員ハ如何デ
アラウカト思ヒマス、何トナレバ歳費ト申シマスルモノハ銘々歳費ヲ受クル
御方ニ限ッテ居リマス、歳費ヲ受クル御方丈ケカラシテ是レ丈ケヲ納メヤウ
ト云フコトヲ御協議ニナルコトハ是レハ玆ノ議決ニハ及ブマイト思ヒマス、
議院内ニハ全ク歳費ニ關係ノナイ御方ガアル、既ニ先刻發議者モ言レマスル
通り公侯爵或ハ官吏ノ御方ハ歳費ニ關係ガナイ、其御方ガ歳費ノ者ニ御前ノ
物ハ此位出スガ宜イトカ多イトカ少イトカ云フコトハ恐ラクドウモ仰ッシャリ
ニクイ所ガアリハシナイカ、我々歳費ヲ出スコトヲ議場デ以テ……先ヅ自己
ノ利益ニ關スル様ナコトヲ……夫レヲドノ位納メヤウカト云フコトヲ議場デ

極メマスルノハ如何デアラウカト思ヒマス、此事柄ハドナタモ反對ハナイダ
ラウト思ヒマスカラ或ハ各部ナリ或ハ談話室ナリデ以テ御協議ニナッタ上デ
サウシテ連署シテナリ議長ノ手許ヘ出シテ取計フテ貰フコトニスレバ十分ダ
ラウト思ヒマス、此議場デ討論シテ極メルノハ少シク穩ナラスコトデハナイ
カト思ヒマス、本員ハドウゾ議場デ御決議ニナルコト丈ケノ御見合セヲ願ヒ
タイト思ヒマス、

○男爵渡邊清君 本員ハ大體會我君ノ動議ニ賛成致シマス、是レハドウゾ
決議ヲセナクレバナラスコトデアラウト思ヒマス、議員ノ資格ニ於テ議長ニ
依頼シテ差出サチバナラス、歳費デアルカラハ到底銘々一人一人ノ篤志上デ
出スモノトハ違フモノデアリマス、夫レデ矢張り決議デ宜カラウト考ヘマス、
然ル處此金額ニ付キマシテハ會我君ノ金額トハ少シ見込ガ違ヒマス、兎角此
金額ノコトニ付テ互ニ討論ヲ致スト色々ノ論ニ涉ッテハナリマセス其上ニ他
ノ法律ヲ論ズルトモ違フシ、一種特別ノ議事デアリマスカラ願ハクハ此議事
ヲ秘密會議ニシタイト思ヒマス、此動議ヲ提出致シマス、

○小畑美稻君 私ハ村田君ヲ賛成致シマス、納金ニ於テハ固ヨリ不同意ハ
アリマセスケレドモ決シテ此事柄タルハ此議場デ議スベキモノデナイト思ヒ
マスカラ發議ニハ反對ヲ致シマス、

○三好退藏君 渡邊男爵ノ說ヲ賛成致シマス、

○子爵島尾小彌太君 會我君其他ノ提出サレタ議案ハ本員ハ此御志ハ誠ニ
御同感デアリマスガ併シ議場デ之ヲ議決スルコトハ頗ル奇怪ノコトダト考ヘ
マス、何故ナレバ本員ハ此議場ノ多數ノ議決ニ服從スベキ義務ハ此事ニ付テ
ハナイト云フコトヲ斷言シマス、其時ニ至リマシタラバ此議決ノ效力ハドウ
ナリマスカ、又議長ハ此議決ヲシテ未來六年間總テノ議員ニ服從セシムル所
ノ權力ガ此議決ニ依ッテ生ズルモノデアルト云フコトハ之ヲ認ムルコトハ出
來マイト思ヒマス、認ムルコトノ出來ナイモノヲ議長ニ託シテ取計ハセルコ
トハドウシテ出來マスカ、議長モ斯ウ云フコトハ決シテ議員ノ依託ヲ受ケテ
議院ノ議決ヲ代表シテ爲サレルコトハ決シテ出來ヌコトダト思ヒマス、且ツ
此歳費ト云フモノハ貴族院ノ共有物デハアリマセス、共有物ナラバ夫レハ多
數ノ議決ニ依ッテ如何様ニナリト御取計ヒニナッテ宜シイ、決シテ歳費ハ貴
族院ノ共有物デハアリマセス、又斯ノ如キ議決ハ或ル場合ニ於テハ議院ニ於
テハアルコトデアアル、併ナガラ其議決ハ其當時ノ多數ノ意思ヲ示シテ置クニ
過ギナイ、決シテ夫レガ效力ヲ持つベキモノデハナイ、今日議決シテ又二週
間モシテ會議ヲ開イテ其時ニ議決ヲシテ此議決ヲ翻ヘセバ又效力ハナクナ
ル、唯當時ノ多數ノ意向ハ斯ル意向デアッタト云フコトヲ議事録ニ掲ゲ示シ
テ置ク迄デ、是レガ院內決議ノ效力ダト思ヒマス、其外ノコトニナリマシタ

ラバ貴族院ハ貴族院自ラ制裁シナケレバナラヌ部分ト云フノハサウ云フ事柄
ヂヤナイ外ニアリマス、或ハ議場ノ議事規則トカ何トカ云フ即チアレハ國務
ニ服従スベキ規定デ即チ自ラ議定シテ行カナクナラヌ部分ト云フモノハ
是レハ別段ニアル、斯ルコトハ決シテ貴族院自ラガ爲スベキ職務トモ思ハナ
イ、尤モ是レガ或ハ奏案ニシテ出シタリ或ハ貴族院ノ決議ニ依ッテ御裁可
デモ願ヒタイト云フコトデアレバ是レハ本員ハ無論議事ノ出來ルコトデア
ウト思ヒマス、是レ等ノ理由ニ依ッテ是レハ速ニ此問題ハ提出者ガ自ラ御撤
回ナサツテ宜シイコトト思ヒマス、賛成不賛成ヲ言フニ及バナイ、

〔子爵谷干城君演壇ニ登ル〕

○子爵谷干城君 本員ハ唯今會我子爵ヨリ發議ニナリマシタ案ニ大賛成ノ
一人デアリマス、抑、發議者ヨリモ述ベラレマシタル通り此度ノ 詔勅ノ御
趣意ニ於カレマシテハ我々從來執リ來ッテ居ル所ノ主義即チ勤儉尙武ト云フ
コトニ誠ニ殆ド同一ノ 歡應ト拜承奉ル、此 聖詔ヲ我々ガ拜承シテ實ニ一
個人トシテハ申ス迄モナシ、又議員トシテ今日此席ニ列リマシテ考ヘマスル
ト寔ニ此上モナイ有リ難イ思召デ、眞ニ今後儉約ヲ致シ國家ノ武備ヲ充實致
シテカラニ此世界ノ大勢ニ十分ニ抵抗ヲスル者ハ益々奮ハネバナラヌコトト
考ヘマス、ソコデ文武ノ官員ニ於キマシテハ明ニ 詔勅ニ十分ノ一ト云フヲ
示サレテアリマスケレドモ我々議員ニ於キマシテハ普通ノ官員デアリマセ
ズ、依ッテ賜ハル所ノモノニ於キマシテモ名稱モ異ナッテ居ル、然レバ唯之
ヲボンヤリシテ居ッタ所ガ發議者モ云ハレタ通り 詔勅デ之ヲ納メルト云フ
コトヲ御發シナサルコトハ出來ナイカラシテ是レハ進ンデ一ツ此 聖旨ヲ奉
戴シタ以上ハ納金ヲセヌナラヌト云フコトハ滿場御異論ノナイコトト考ヘ
ル、扱是レハ既ニ進ンデ納金セヌナラヌト云フコトニナツタ場合ニドウ云フ
方法ヲ取ルカト云ヒマスルト一個人一個人ノ考ヲ以テスルト云フコトナレバ
是レハ所謂一ツノ獻金ト云フモノニナツテ獻金ニハ夫々方法モアルコトデ容
易ニ是レハ出來ナイ話ダ、又 詔勅ノ趣ニ依リマスルト即チ六箇年間役人ハ
俸給ノ十分ノ一ヲ納メルト云フコトニナツテ居ル、即チ六箇年ト云フ年限ニ
對シマスルト一個人ガ勝手ニ此議員ガ議スルト云フコトニナリマスルト甚ダ
不揃ヒナコトニナル、一體議院トシテ此一ツ纏マツタ團體ニナツテ居リマス
ルシ、又歳費ハ成程共有物デハナイケレドモ議院法デチャント極メラレテア
ルモノデアリマスカラシテ是レハ一齊ニ適當ナル所ニ定メテ議員ノ資格トシ
テ是レハ是レ丈ケノモノヲ即チ六箇年間納メタイト云フコトヲ申立テルニ於テ
ハドウシテモ是レハ議院ノ決議デナケレバナラヌ、即チ永續シテ六箇年往ク
譯ノモノデアアル、又單ニ銘々ノ考デヤツテ置クニナリマスレバ明日議院ヲ退
クト云フコトニナリマシタナラバ後トカラ來タ人ニ其義務ガナイト云フコト

ニナリマス、總テ議員ノ歳費ヨリシテ納メルト云フモノニナルガ適當トスル
ナレバ、ドウシテモ議院ト云フ團體ヲ以テ決議シテサウシテ繼續スルコトニ
ナルガ適當ノコトト本員ナドハ信ジマスルノデアリマス、又或ル議員ニ於テ
ハ談話室デ云々ト云フ論モゴザンシタガ到底是レハ纏マル話デハナイト考ヘ
マス、故ニ諸君ノ贊否ヲ御表シニナツテ少數デ是レガ消滅スルナラバ仕方
ナイ話デアリマスガ、ヨモヤサウ云フコトハナイト思ヒマス、スレバ即チ議
院ノ議決トシテカラニ是レガ定マリマシタナラバ即チ斯ク決議ヲ致シマシタ
ニ依ッテハ是レハ是レノ金ハ然ルベク其向ニ取計ッテ下サレイト云フコトヲ議
長ニ申立テ議長ヨリ之ヲ相當ニ處分ヲサレルコトデアラウト思ヒマス、又若
シ是レガ一個人一個人ノ考デシマスルナラバ何モ之ヲ議長ニ頼ムニハ及バ
マス、託スルコトハナイ、又議長モサウ云フコトヲ引受ケル道理ハナイト思ヒ
マス、始メテ此議院デカラニ議シテ此議院デ決シタコトニシテ始メテ議長ガ
之ヲ取扱フ所ノ義務ガ出テ來ル、ドコドコマデモ本員ニ於キマシテハ發議者
ノ案ノ通り決議ニナリマシテ議院一體ノ動作ニ出ルコトヲ偏ニ希望致シマ
ス、又員數ノ多少ニ付キマシテハ夫レハ各御考モゴザイマセウカラシテ適
當ナ御決議ニナツタラ宜カラウ、併ナガラ兎モ角モ決議シテ之ヲ六箇年永續
スベキモノタルハ信ジテ疑ヒマセヌ、ドウカ諸君發議者ノ意見ヲ御賛成ナラ
ムコトヲ冀望シマス、

○村田保君

先刻本員カラシテ此事ハ議場デ議スベキモノデハアルマイト
云フコトヲ述ベマシタ、夫レニ賛成モゴザイマスレバドウゾ是レハ一ノ問題
トナツテ居リマスカラドウゾ議長カラ御決シニナルコトヲ願ヒマス、其上デ
本員ノ申スコトガ不幸ニシテ少數ニナリマシタナラバ夫レカラ續々ト御演説
ニナルコトニ致シタイト考ヘマス、

○男爵伊達宗敦君

唯今村田君ノ申サレルコトハイケマセヌ、既ニ議題ト
ナツテ谷君モ論セラレテ居ルコトデアリマス、夫レヲ今更止メルコトハイケ
ナイ、夫レハ無理デス、サウ云フコトハ出來ヌト思ヒマス、

○松本鼎君

本員モ會我君ノ御趣意ノ所ハ飽迄賛成スル積リデゴザリマ
ス、併シ此議場デ議サヌト云フコトハ村田君ト同感デゴザリマス、如何トナ
ラバ此議場ノ決議トナリマスレバ本員等ハ左様ナルコトハアリマセヌガ萬ガ
一此議場デ決議ニナツタ時ニ服従セヌ者ガ出タ時分ニ至ッテ其處分ノ仕方ガ
ナイ、是レハ即チ他ノ事ト違ヒマシテ此事ニ付テハ其邊マデモ攻究ヲシマス
ルト云フト、此議場デ議スベキモノデナイト云フコトガ明瞭ニ分ル、私共ハ會
我君ノ四分ノ一ニスルト云フ其邊ノ趣意ニ於テハドウモサウシタイト思
ヒマス、夫レデドコマデモ協議ヲシマシテ此議場デ議スルコトハ御見合セナ
サルコトヲ冀望シマス、

○三浦安君 村田君ノ發言ニ就テ一應申シマス、村田君ハ此議場デ議スベカラズト云フコトニ付テ決テ御探リ下サイト云フコトデアリマスガ是レハ既ニ時期ガ後レマシタ、夫レハ此緊急動議ガ發シマシタ時ニ滿場諸君ノ贊成ガ多ウゴザイマシテ議題トシテ成立ッテ即チ議場デ議スベキモノトナッテ居リマス、然ルニ議場デ議スルガ惡ルイト云フナラバ之ニ反對ナサルガ適當デアリマス、今更業已ニ多數デ之ヲ許シテ議場デ議スルコトニナッテ問題トナッテ居ルモノヲ今取消スコトハ出來マセスト思ヒマス、是レ丈ケノコトヲ一應申シテ置キマス、

○村田保君 本員ハ決シテ出來スト云フコトハアルマイト思ヒマス、緊急動議ガ成立ッテ居ルカラシテ此事ハ議スベカラザルモノト云フコトハ是レハ何時デモ出來ルト思ヒマス、夫レデ之ニ贊成者ガアレバ矢張り一ツノ問題トナッタノデゴザイマスカラ是レハドウモ議長デ御諮ヒニナルノハ不當ナコトデハナイト思ヒマス、

○男爵伊達宗敦君 夫レハ既ニ今議シツ、アルモノデスカラ……既ニ緊急動議ガ成立ッテ今議シツ、アル、夫レヲ今村田君ノ言ハレル様ニスルノハ宜シクアルマイト思ヒマス、

○宮本小一君 果シテ此建議ガ追々募ラウト思ヒマスガ本員ハ大體ハ鳥尾君ヤ村田君ノ御説ニ同意シテ既ニ緊急動議ニ服從セヌガタメニ起立モ致シマセス、去ナガラ此事タルヤ固ヨリ心ニ於キマシテドウゾ成立タセタイトハ十分ニ存ジテ居リマスルコトデゴザイマスルガ、先刻鳥尾君ガ云ハレタ通り此議場デ是レガ決議ニナリマススト今日此ニ御出席ノナイ御方モ大分ゴザイマス、伯爵以下ノ御方カラシテ總體御出ノナイモノガ大分ゴザイマス、其御方ハ前以テ議案デモ迴ッテ居ッテ……決議案デモ迴ッテ居ッタナラバ宜シイガ誠ニ所謂夢ニモ御存ジノナイコトト見做シテ、叔明日官報ヤ新聞紙ヲ御覽ニナルト、斯ナコトガ貴族院ニアッタト云フコトヲ初メテ御承知ニナルデアリマセウ、其方マデモ其場合ニ義務ヲ背負フ譯デゴザイマスガ、今松本君ガ云ハレル通り私共其點ニ於テ懸念ヲ致スノデアリマス、若シ私ガ又彼レ是レ論ガ出マシタ時ハ甚ダ所謂獻芹ノ微衷ト云フモノガ縛レテ面白クナイコトニナリハ致シマスマイカト存ジマス、夫レデ本員ハ豫テ斯ウ云フコトニナリマスルナラバ何卒前以テ御出席ノナイ御方マデモ同章ノ様ナモノデモ迴ハシマシテ即チ議案デゴザイマス、夫レヲ迴ハシテ悉ク御同意ヲ得タ上デ議場デ夫レヲアッサリト御議シニナルコトナラ大キニ宜シイカト思ヒマス、寢耳ニ水デ如何ニモ唐突ノコトデアアルマイカト存ジマス、ドウカ是レハ本員ノ考デハ最早今日此場合ニナッテ之ヲ取消ス譯ニハ參リマスマイカラ今日ハ此決議ヲナサラデドウカ出席ノナイ御方マデ決議案ナラ決議案ヲ蒞蒞板摺ナリ何ナリ

ニ致シテ迴ハシテチヨット其御方ノ意見モ先ヅ御諮ヒニナリ、ソコデ其御方ニガ御存寄ガアルナラ御議シニモナリマセウシ、又御存寄ガナケレバ御出席ガナイケレバ夫レナラ夫レデ御承知ノ上デアリマスカラ一向差支アリマスマイト思ヒマス、寢耳ニ水デ之ヲ強ユルハ甚ダ穩カデナイト云フコトハドウモ本員ハ主張ヲ致シマスカラ、何卒滿場ノ諸君ニ於テモ今日決議ヲナサルコトヲ御見合セニナリマシテ篤ト其議案ヲ迴ハシタ上デ之ヲ御決議ニナル様ニ致シタイト思ヒマス、緊急動議ト云ッテモ何モ明日ニシテモ惡ルイノデハナイ、此事ガ明日早ク建議シナケレバナラヌコトデモナイ、一向緊急ト云ッテモ本員ニ於キマシテハ一向分リマセヌ、是レハソナニ急グニモ及バヌスト思フ、是レハ何カ競争メイタ緊急デアリマスガ何ニモ此際擔ギ出シテ競争スルコトハナイ、ドウゾ其邊ハ諸君ニ於テモ御考ヘ下スッテ暫ク是レハドウゾ今日決スルコトヲ御見合セナルコトニ致シタイ、左モナケレバ是レハ纏リガ附カヌコトニナリハセヌカト思フカラ一言致シマス、

○子爵曾我祐準君 唯今宮本君ガ寢耳ニ水ト云フコトヲ頻ニ仰ッシヤッタガ宮本君ハ本員等ノ發言ノ旨趣ヲ御取違ニナッテ居ルコトト明ニ申ス、是レハ相談デハゴザイマセヌ議事デアリマス、議事ハ定足數ニ足リレバ議シテ宜シイノデ、若シ茲ニ來テ居ラスケレバ贊成ガサレヌナラ三百人ノ議員ハ此所ニ揃ッタコトハナイ、是レヨリモ、金ヲ出スコトヨリモ遙カ重キ天下ノ大事ヲ議スルニモ來テ居ラス人ハ寢耳ニ水ト云フコトニナリマス、是レハ相談デハナイ議事デアリマス、今日ハ獻金ノ相談會デアリマセヌ、

○外山正一君 本員ハ此緊急動議ニハ反對ノ者デアリマス、本員ノ反對ト云フノハ此動議ノ精神ガ甚ダ私ニ不滿デアルニ依ッテ反對致シマス、此精神ト云フモノハ是レハ此度ノ有リ難キ 詔勅ニ對シテ衆議員ノ盡スベキト云フノデ會我君カラ請求ニナッタ次第デアリマス、其精神ニ依ッテ即チ緊急動議ニ反對スルノデアリマス、ナゼ反對スルカト申セバ本員ノ考フル所ニ依レバ此度ノ 詔勅ニアリマスル六箇年ノ間年々 御上カラ多額ノ金額ヲ賜ハルコトデアリマス、夫レ故ニ臣民タル者ハ公侯伯子男諸君華族方ヨリ多額納稅者ハ豈獨リ貴族院ノミナラズ全國ノ多額納稅者諸君ニ於テモ有リ難キ 思召ニ對シテ各々應分ニ之ヲ盡サル、コトト思フ、然ルニ貴族院中ノ華族諸君ガ歳費ノ何分ノ一ヲ納ムレバ夫レデ國民タル者ノ義務ヲ盡シタモノデアルト、固ヨリ他ニ收入ノナイ諸君デアレバ其歳費ノ四分ノ一ヲ納ムレバ實ニ是レハ美事タリト言ハザルヲ得ヌ、併ナガラ華族諸君ニ於テ此歳費ノ内ノ四分ノ一デモ三分ノ一デモ二分ノ一デモ納メテ夫レデ會我君ノ言ハル、様ナ國民ノ盡スベキ所ヲ盡シタト云フ所ヲ以テ勤儉尙武ノ趣意ニ之ガ協ッタト云フニ依ッテ反對スル、本員ガ反對スル理由ハ外ニハナイガ其趣意デ以テ反對スルノデ、

本員ノ冀望ハモット他ノ所ニアルノデア、

○子爵曾我祐準君 外山君ニ御答ヘテ致シマスガ……質問デハナイガ唯今ノ議論ニ付テ一言申シマス、外山君ハ華族ト金持ト同ジ様ニ仰セラレタガ華族ニモ貧乏ノガアリマス、又平民ニモ金持ガアリマス、是レハ何カノ間違デアラウ、又我々ガ此案ヲ出シタノハ歳費ニ對シテ即チ國庫ヨリ支給サル、金ニ付テハ其幾分ヲ納金シタイト云フ斯様ナコトデ、一己ノ富ノ割出シカラ獻金シタイト云フノデハナイ、即チ官吏ハ政府ノ俸給ノ十分ノ一ヲ納レ製艦費ノ補足ニ充テシムト斯ノ如キ 叙慮ニ依ッテ我々議員モ國庫ヨリ幾分ノ金ヲ支給サレテ居ルカラ其幾分ヲ官吏ニ準ジテ納金シタイト云フ斯様ナ趣意デアリマス、

○外山正一君 唯今ノハ誤解ガアリマスルカラ一言致シマス、其故ニ本員ハ一個人デ之ヲアルベシト云フ方デ、貧富ノアルコトモ知ッテ居ル、華族ニモ貧富ガアレバ其外ニモ貧富ガアル、故ニ一個人デアルベキコトデ、 詔勅ニ對シテハ一個人デアレバ宜シ、故ニ議院デアルノハ反對デア、

○子爵平松時厚君 私ハ曾我君ニ質問ヲ致シタイ、先刻ノ歳費ノ四分ノ一ヲ六箇年間獻金シタイト云フコトヲ言ハレマシタガ抑、是レハ財産的ニ關スルコトデアリマシテ曾我君モサウ思ハル、デアリマセウガ他ニハサウ思ハレヌ御方モアリマセウ、既ニ御承知ノ通り六箇年ト云フコトハ言ヘマスマイト自分ハ考ヘル、何故ナレバ本員等ハ六箇年ノ年限ガナイノデアリマス、其六箇年ノ年ガナイモノヲ六箇年ノ歳費ヲ納メルト云フコトハ言ヘヌ話デ又歳費モナイ話デアリマス、今ノ在任期ノ人ガ納メヤウト云フ趣旨デ六箇年ト云フコトヲ取消サレテ或ハ五年トカ四年トカ云フコトナレバ成程立派ニ此議案デ致サレマセウガ、其任期ノナイ人ニ向ケテ後選モアリマセウシ其者ヘ是非玆デ決シテ置イテ其人ニ向ケテ此議決ノ効力ヲ及ボスト云フコトハ私ハムヅカシイコトト考ヘル、併シ其御考ハドウ云フ御考デ六箇年ト云フ御考カ其邊ヲ一應伺ヒタイト存ジマス、

○子爵曾我祐準君 今平松君ノ御問デアリマスガ平松君ノ御問ハ一應尤ノ様ニ考ヘル、併ナガラ平松君ハ六箇年デハ往カヌ五箇年三箇年デ宜イト言ハレマスガ平松君ノ論鋒ノ如ク平松君ノ解釋ノ如クナラ五年デモ往カヌ、不幸ニシテ平松君ガ若シ明日ニモ死ナレタナラ其補缺ハ明日出ル譯デドウシテ五箇年ガ宜イカ平松君ガ何年生キルト云フ覺悟ハアルマイ、シテ見レバ先キノコトハ三年デモ一年デモ往ケヌ、是レハ夫レトハ趣意ノ違フノデ、夫レ故ニ議院ノ決議ニアルノデ、議院一體ノ決議トシテ議場ニ於テ極メルノデアリマス、夫レ故ニ歳費ドコロデハナイ人命ト云フモノハ明日ヲモ圖ラレナイノデ、是レデ御了解ト思ヒマス、

○子爵平松時厚君 夫レナラバモウ論ズルニモ及バス、未ダ五年ノ任期ガアルカラ誰レガ明日死スカ分ラヌノデ、分ラヌカラ言フノデアリマス、分ッテ居レバ言フニハ及バスノデアリマス、五年ハ本員モ任期ヲ持ッテ居ルカラ當然ノ話デ、明日ニモ知レヌト言ヘバ今日言ハンデモ宜シ、故ニ少シク考ガアッテ五年ナラ異論ガナイ、六年ト云フト任期ガナイカラ五年ノ任期中ニト云フ精神デアリタイト云フ御論ナラ感服致シマスガ夫レカラ議スルヤ否ヤニ至ッテハモウ少シ夫レヲ確カメンデハ私ノ意見ヲ申シニクイノデアリマス、

○子爵鳥尾小彌太君 私ハ最前申シマシタガ段々レハドウモ議事ノナラヌ問題デアルト思ヒマスガ一向御採用ガナク矢張り御議シニナッテ居ルガ私ハ此議場ヲ退席致シマス、何故ナレバ諸君ガ斯ルドウモ不合格ナル議權ヲ振廻ハスハ甚ダ安カラヌコトデアリマス、此貴族院ニ合シナイ……極穩カニ申セバ貴族院ニ合シナイ所ノ議權ヲアナタ方ハ濫用ナサルト私ハ思フ、其濫用ノ證據ヲ申セバ私ハ唯今カラ退席ヲ致シマスガ若シ多數デ決議ガ成立ッたら其決議ニ鳥尾ヲ服從サシテ御覽ナサイ、服從シタラ正當ノ議事デアリマス、若シ服從サスルコトノ能ハヌトキハ其議事ハ全クアナタ方ハ議權ヲ濫用シタコトニ當ル、私ハ唯今ヨリ議場ヲ退席致シマス、

〔子爵鳥尾小彌太君退場ス〕

○村田保君 本員ハ先刻議長ニ決議ヲ請ヒマシタガ併ナガラ議長ハ議院ニ諮フコトハ出來スト仰セナラバ本員ハ已ムヲ得ズ鳥尾君ノ響ニ倣ッテ亦本員モ退席ヲシナケレバナラス、ドウゾ一應議長ニ願ヒマスガ此事ハ議スベキモノカ議スベカラザルモノカドウゾ衆議員ニ御尋ネ下サルコトヲ希望致シマス、

○副議長(細川潤次郎君) チョット村田君ニ一言致シマスガ是レハ最初カラ其御論ガ出テ居リマシタ、從ッテ外ニモ賛成ノ御方ガアル様デゴザシタ、然ルニ又夫レト同時ニ最早時機ヲ失シテ居ルコトデア、依ッテハ其説ハ成立タヌモノデア、ルト斯ウ云フ説モゴザシタ、是レハ固ヨリ申スマデモナイ所謂彼ノ先決問題ト稱スルモノノ様デゴザシタ、是レハ固ヨリ申スマデモナイカラウト本席ニ於テモ考ヘマスルガ、然ルニ又少シク時機ヲ失シタル様ニモ思ハレド少シク疑ガゴザイマスカラ、モウ少シ早ク此問題ガ出テ居リマスルト無論是レハ採ラナケレバナラスコトデゴザシセウト存ジマスガ、其中ニ段々此動議ノコトニ就テ本論ニ移リマシテゴザシマスカラ是レハ先決問題ノ決ヲ採リマスコトハ相成ルベクハ御我慢下スッテハ如何デアラウカト存ジマス、モウ本論ノ旨趣ニ十分立入ッテ御論モゴザシタ様デゴザシマスカラ即チ此決ヲ採ルトキニ至ッテ十分可否ノ意ヲ表明ニナルコトガ出來ルト存ジマスカラ一應右ノ御相談ヲ申シマス、

○村田保君 本員ノ考ヘルニハ谷君ガ御演説ニナリマシタ其前ニ實ハ本員ハ其説ヲ述ベタイト思ヒマシタガ御演説ノ妨ハ出来マセスカラ演説ノ終ルノヲ待チマシタノデ、然ルニ其時分ニナッタラ時機ガ後レタカラ言ヘヌト云フコトハ恐ラクハ言ヘヌト本員ハ思フ、一ノ問題トナッタクニハ縱令議事ノ進行中ト雖モ議事ヲ止メルコトハ出来マセウト思ヒマスカラ、ドウゾ一ツ是レハ其邊ヲ尙ホ議長カラシテ各員ニ御諮リヲ願ヒタイト思ヒマス、如何デゴザイマセウドウゾ是レハ議場ニ諮ッテ宜イカ悪ルイカト云フコトヲ御諮リヲ願ヒタイ、

○小畑美稻君 村田君ノ説ヲ賛成致シマス、

○子爵平松時厚君 唯今鳥尾子爵ガ缺席サレマシタガ別ニ病氣デモ何デモナク缺席サレマシタ、サウ云フコトヲ議長ニ於テ御許シニナリマスカ、御許シニナリマスカ本員ニ於テモ事故ガアリマスカラ缺席致シマス、所勞ナラバ格別此議事ニ付テ……

○副議長(細川潤次郎君) 左様ナコトハ承リマシテゴザースガ本席カラ之ヲ許スト云フコトハ一言モ致シタ覺ハゴザース、

○子爵平松時厚君 夫レデハ私モ……此事タル私ハ一體歳費ヲ仰ガンデ居ル者デアリマス、然ルニ他ノ人ノ歳費ヲ仰イテ居ル者ノ何分ノ一出セノ何分ノ幾ラ出セト云フコトハ言ヘマセヌカラ既ニ可否ノ數スラモ御斷リヲ申サウト思フテ居ル位デアリマスカラ此議事ニハ缺席ヲ致シマス、御斷リヲ致シマス、

○村田保君 唯今小畑君カラ賛成モゴザイマスカラドウゾ一ツ御採決ヲ願ヒタウゴザイマス、

○副議長(細川潤次郎君) 夫レデハ此先決問題ヲ各員ニ御諮リ申シマス、
○三浦安君 先決問題ハ既ニ時機ガ後レタト云フコトハ假令谷君ノ演説ヲ妨ゲルト妨ゲナイトニ拘ラズ……

〔村田保君「モウ夫レハ無用ダラウト思ヒマス、唯今議長カラ御宣告ガアリマシタ」ト述フ〕

御宣告ハアリマセヌ、依ッテ此事ハ先決問題ノ決ヲ採ルベキヤ否ヤト云フコトノモウ一ツ先決問題ヲ御採リヲ……

○副議長(細川潤次郎君) 三浦君ニ申シマスガ全ク其積リデゴザース、各位御承知ノ通りノ譯デゴザース此先決問題ノ決ヲ採ルヤ否ヤト云フノ決ヲ採リマス、即チ村田君ノ先決問題ノ決ヲ採ルト云フコトニ御同意ノ御方ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數

○副議長(細川潤次郎君) 少數ノ様デゴザース、夫レデハ先決問題ヲ採リ

マセヌコトニ致シマス、

○小畑美稻君 私ハ退キマス、

○男爵伊達宗敦君 最早論旨ガ盡キタト思ヒマスカラ討論終結ノ動議ヲ提出致シマス、

○子爵小笠原壽長君 賛成致シマス、

○村田保君 本員モ夫レデハ退席致シマス、

〔此時退席スル議員甚タ多シ〕

〔男爵伊達宗敦君「アレハドウシテ逃ゲタカドウカ御呼返シヲ願ヒマス、議長ドウカ此逃ゲタ連中ヲ御呼返シヲ願ヒマス」ト述フ〕

〔子爵小笠原壽長君「誠ニ不都合千萬ナ所爲ト考ヘマス、自分ニ議スル議事ガ氣ニ入ラヌカラ退席スルト云フノハ甚ダ以テ其意ヲ得ヌ、本員ハ鳥尾子爵竝ニ平松子爵ヲ懲罰委員ニ付サウト思ヒマス」ト述フ〕

○副議長(細川潤次郎君) 何分定足數ガ缺ケテ居リマスカラ……チヨット各位ヘ一言致シマスガ大層員數ガ缺ケテ居リマス、然ルニ議長ガ唯今參内ヨリ歸ラレマシタ趣デアリマシタ、即チ參内ノ模様ヲ報道サレルサウデゴザースカラ暫ク御控ヘテ……

〔副議長細川潤次郎君議席ニ復シ議長侯爵蜂須賀茂韶君著席ス又議員ノ復席スルモノ多シ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今參内ヲ致シマシテ今朝決議ニナリマシタ奉答書ヲ宮内大臣ヘ差出シマシタル所暫ク相待ッテ居ル様ニ、奏聞ヲ致シテ返答ヲスルト云フコトデゴザリマシタカラ控席ニ控ヘテ居リマシタル所程ナク宮内大臣出席ニナリマシテ、奉答ノ趣ハ御満足ニ思召サル

〔一同起立敬禮ス〕

ト云フ御沙汰ヲ御傳達ニナリマシタ、……本日ハモウ四時ニナリマシテゴザリマスカラ延會ヲ致サウト存ジマス、明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、午前十時開議、第一、歳費納金ニ關スル動議、子爵曾我祐準君發議、前會ノ續、第二、辯護士法案、政府提出衆議院送付、第二讀會、前會ノ續、本日ハ散會、

午後三時五十九分散會